

むろらん 平成19年を 振り返る

豪華客船入港のときは、まちをあげての歓迎で乗客に感動を呼び、市民活動団体同士のネットワークもさらに広がりを見せるなど、市民の輪が着実に広がっていることを実感できた平成19年。
やきとり、ボルタ、カレーラーメンに続き、「クロソイ」も室蘭ブランドとして活躍を始めました。
そんな平成19年を振り返ります。

※数字は日付です。内容は11月16日現在で作成しています。

1月 JANUARY

1 初日の出を拜もつと地球岬に約3千300人、マスイチ浜に約300人が訪れた。新成人などの有志ボランティアが企画した成人祭に、1千42人の新成人のうち、683人が出席。小・中学校時代の恩師が登場するビデオレターや、室蘭・青森間のフェリー券などが当たる抽選会などを行い、好評だった。市内の市民団体「エメラルドの会」が、友好都市の宮古島市（沖縄県）の小学生たちを室蘭に招待。南国の子どもたちは喜門岱小学校で、初めての雪遊びを、21日にはだんぱラス



北海道と東北など、15県分のPCB廃棄物を処理する、「北海道PCB廃棄物処理施設」の試験運転が開始。来年4月に本格稼働の予定。（3月22日）

むろらんバイ（買）地域運動として実施された。昨年12月の「全市統一年末大売出し」の現金つかみ取りが蓬峽殿で開催。220人の参加者が初夢をつかんだ。（1月7日）



室蘭手わざの会が、「手わざ展」開催。^{たこ} 扇や木製の手づくり自動車など、約140点の伝統のわざが勢ぞろいした。（2月14日）

1 7シーズンぶりにエゾバフンウニ漁が再開。
6 学校法人文化学園が、平成19年度で文化女子大学室蘭短期大学保育科の学生募集を、停止すると発表。

3月 MARCH

1 7シーズンぶりにエゾバフンウニ漁が再開。
6 学校法人文化学園が、平成19年度で文化女子大学室蘭短期大学保育科の学生募集を、停止すると発表。

2月 FEBRUARY

4 室蘭栄高校の美術部や吹奏楽部など、文化系6部合同による総合芸術祭を初めて開催。
27 1月27日から、30日以上継続して積雪がない、18年ぶりの「根雪なし」を室蘭地方気象台が事実上確定。
28 元国土庁長官で名誉市民の池端清一氏が逝去。3月29日の市葬には、市民など500人が献花を行った。

23 キー場で初めてのスキーを楽しんだ。室蘭カレラーメンの会が、のぼりなどに使用し、豚がおいしそうにめんをほおぼっているマスコットの名称を「めんばる君」に決定。ロゴマーカーのストラップなどが、室蘭観光協会と道の駅「みたら室蘭」、各ラーメン店で販売されている。
29 函館税関室蘭税関支署が、平成18年の室蘭港外国貿易概況を発表。輸出入合計が4千829億円で、過去最高額となった。
30 室蘭に美術館をつくる市民の会が、全道展覧会などの絵画や書道などを常設展示するサロンを、中央町アーケード内に開設。

27

「広報むろらん」を市内コンビニエンスストアに設置（11月現在、36店舗で配布）。

29

市内民間企業を対象とした平成18年度の市の労働基本調査で、新卒者の採用予定数が、前年度比29.3%増の566人と増えた。

母恋小学校と朝陽小学校が閉校。

3131

J2公式戦で、コンサドーレ札幌がセレッソ大阪と対戦。入江陸上競技場に駆けつけた約4千人の応援を受け、1対0と4年ぶりに室蘭で勝利。



APRIL

2

平成14年度から市が編集してきた「新室蘭市史第6巻」の本編が完成し、販売を開始。本編は昭和60年から平成14年までの市内外の出来事が、A5判808ページに収まっている。価格は4千500円。総務課（☎22215）に問い合わせを。昨年11月に完成した第6巻の年表・資料編も、2千500円で販売中。

知事・道議会議員選挙。

20 8

西胆振最大の商業施設「モル工中島」がオープン。スーパーマーケットやスポーツ用品店、家電量販店など、大勢の客でにぎわった。

20

「室蘭工業大学国際交流センター」が開所。留学生の受け入れや、海外の大学と姉妹校の協定を進める。

23 22

来年夏の「主要国首脳会議（サミット）」の開催地が、洞爺湖町に決定。7月には、胆振地域の魅力発信やサミットの成功などを目指し、胆振管



JR東室蘭駅に、蘭東地区の東西を結ぶ東室蘭自由通路「わたれーる」が開通。（4月3日）



母恋小学校と朝陽小学校が統合し、市内3校目となる統合校の「地球岬小学校」が開校。新1年生28人が入学した。（4月7日）



未整備となっている、白鳥大橋祝津側と入江町を結ぶ白鳥新道のあり方について議論してきた「白鳥新道市民ワークショップ（市民など44人で構成）」が、祝津側から築地町までを高架で結ぶことなどを盛り込む提言書を市長に提出した。（5月9日）



水族館がオープン。新たにフンボルトペンギンが行進デビューするなど、今年（10月14日まで）の入館者数は、前年より約2,000人多い、約10万2,500人が訪れた。（4月27日）



MAY

5

内の11市町で構成する「北海道洞爺湖サミット胆振地域推進会議」が発足。

5

平成14年に「猛スピードで母は」で芥川賞を受賞した室蘭育ちの長嶋有さんが、短編集「夕子ちゃんの近道」で第1回大江健三郎賞を受賞。

9

ゴールデンウィーク（4月29日から5月6日）期間中の、地球岬など市内の入り込み観光客数が、延べ12万3千839人。前年比6%増。

14

日本製鋼所が、平成19年3月期連結決算を発表。室蘭製作所が大半の製造を担う、鉄鋼製品関連事業が同社売り上げ増に貢献し、7期連続の黒字達成。

15

新日本製鐵室蘭製鐵所が、平成18年度の生産実績を発表。粗鋼生産量が15万7千トンと、高炉運営が北海道製鐵になった平成6年度以降、初の150万トン台超え。

21

日本製鋼所室蘭製作所は、平成19年度からの3年間で、世界最大級の1万トンプレス機を増設するなど、約500億円規模の設備投資計画を発表。

22

「室蘭やきとり」のゆうパックが、平成13年1月からの販売開始以来、6万個を達成。

27

土砂災害警戒区域に指定されている幕西町で、住民と市や室蘭土木現業所などによる、土砂災害を想定した防災訓練を実施。行政と住民で連携した避難活動や連絡体制などを確認。

29

独立行政法人航海訓練所の練習帆船「日本丸」が9年ぶりに室蘭港入港。

6月
JUNE

19 日本製鋼所室蘭製作所の関連会社「J-Win(ジェイ・ウィン)」が、風力発電風車用のブレード(羽根)を海外に初出荷。

19 市内中学校の給食に、「室蘭カレーメン」が初登場。28日には市内小学校にも登場した。

22 会員数の減少などで、室蘭中央ライオンズクラブが、37年の歴史に幕を下ろすことになり、最後の寄付活動として「室蘭文学館の会」や「室蘭に美術館をつくる市民の会」など5団体に、計140万円を寄付した。

27 室蘭カレーラーメンの会の小柳会長が監修した、「室蘭カレーラーメン」がカップめんとなって、全国のコンビニエンスストアの一部(約6千200店舗)で販売開始(7月9日までの期間限定)。9月には、西胆振で再び販売された。

7月
JULY

5 自分たちのまちは自分たちできれいに、市内の道路や公園などの清掃を市民が行う「まちピカパートナー」の登録人数が5千人を突破。市民活動の輪が広がっている。

6 シンボルのアブラボウズ不在が続いていた水族館に、市内漁業者からアブラボウズの稚魚1匹が寄贈された。鉄にこだわったイベント「アイアンフェスタ」が、鉄の城下町輪西で開催。



7月に開催された少年軟式野球世界大会で3位になった「港北クラウン」が、新宮市長に国際大会での好成績を報告。(8月17日)



白鳥大橋たもとで、室蘭初のジュニアトライアスロンを開催。白鳥大橋開通10周年を迎える来年には、橋を利用したトライアスロンの大会を開催予定。(8月5日)



室蘭生まれの人気者「ボルタ」の生産拠点となる新たな工房が輪西町にオープン。製作現場の見学や体験ができるほか、全100種類のボルタを販売している。(6月2日)



第61回港まつり開催。室蘭ねりこみや総参加市民おどり、花火大会など、約41万人でにぎわった。(7月27日)



クロソイのオーナー募集に、全国から1,042通もの応募があり、抽選で選ばれた100人のオーナーが8月の給餌体験、11月の試食会に参加。12月にはクロソイ2匹が届けられる。(8月25日)

7 「オールいぶりフェアインさっぽろ」が札幌で開催。室蘭の魚「クロソイ」の無料試食会では、用意した1千食がすべてなくなるなど、大好評だった。

19 神鋼環境ソリューションの「室蘭SD(ナトリウム分散体)製造所」のしゅん工式。PCB廃棄物の無害化処理に使用するSDを製造し、北海道PCB廃棄物処理施設に供給する。

21 道南バスは、市外などの利用者に室蘭の味をPRしようと、東町バスターミナルで室蘭やきとりやカレーメン、味付うすら卵の販売を開始。参議院議員通常選挙。

8月
AUGUST

5 室蘭大谷高校3年の熊本隆規さんが、全国高等学校総合体育大会の男子走り高跳びで、2メートル12センチメートルを跳び、2位の快挙。

11 「交通事故死ゼロ500日」を達成。昭和54年に統計を取り始めて最長を記録。室蘭市の最高気温が、今夏最高の30.9度を記録。3年連続で30度以上となり、77年ぶりの記録となった。

18 水元小学校2年の渡邊きらりさんが、全国小学生ABCバドミントン大会のCグループ(1・2年生の部)で準優勝に輝いた。

18 「室蘭ジャズクルーズ」が、中央ふ頭で開催。約2千200人が、ジャズの音色に酔いしれた。

30 日本製鋼所室蘭製作所の特別目的会社「室蘭新エネ開発」が同製作所内に、2基目となる風力発電用の風車を設置。

1 「スワンフェスタ」開催。中央ふ頭は花火大会や、焼き鳥店が軒を連ねたやきとり横丁など、約8万人でにぎわった。

1 文化女子大学室蘭短期大学と付属幼稚園の存続を願う「文短と付属幼稚園を守る会」が、文化学園（本部東京）を訪ね、約1万6千700人分の嘆願書を提出。それを受け、学園は付属幼稚園の存続を決め、10月12日に北海道へ報告。

4 室蘭工業大学と小樽商科大学は、道内の国立大学同士として、初めての包括連携協定の調印式を、小樽商科大学札幌サテライトで行った。単位互換や合同での公開講座の開催などを行っている。

10 室蘭信用金庫創立90周年を記念した豪華客船「飛鳥II」のクルーズが、4泊5日の日本の旅に出発。

16 市民活動団体を紹介する「市民活動ミュージアムⅢ」が丸井今井室蘭店で開催。買い物客などが、パネルや体験コーナーで関心を深めていた。

22 「室蘭市U・イーターンフェア」を札幌で開催。これまで3年間で、75人の就職が決定。

27 災害危険区域や避難場所などをまとめた「ハザードマップ」（災害危険区域予測図）が完成し、市内全世帯へ配布開始。

29 「第一回やきとリンピックイン福島」が福島県で開催。室蘭から参加した焼き鳥店が、会場の人気投票で優勝。来年8月には、室蘭で開催予定。



スワンフェスタの前夜祭に、「橋がつかなく『まち』と『ひと』フォーラム」が開催され、白鳥大橋と市民をつなぐための方策などを模索した。（8月31日）



体育協会が標高911メートルにちなみ、9月11日を「室蘭岳の日」とし、白鳥ヒュッテで登顶記念のペナントを配布した。（9月11日）



豪華客船「サファイア・プリンセス」が入港。まちは国際色で彩られ、高校生通訳や市民ボランティアなど、まちをあげてのおもてなしをした。（9月23日）



「西胆振地域連携フォーラム」開催。西胆振6市町長などが、将来の広域連携や合併問題などについて議論した。（11月12日）

30

中・高生、大学生、社会人のジャズバンド4グループが、室蘭をジャズの似合う港町にしたいと「室蘭ジャズブレイヤーズコーポレート」を結成。蓬蔭殿で初のコンサートを開催。

10月

OCTOBER

7 1 1

市内で、地上デジタル放送が開始。日本郵政公社が民営化。

10

「室蘭さかなの港町同窓会」開催。獲れたての新鮮なサケのつかみどりなど、港町ならではのお祭りに、多くの市民が押し寄せた。

26

北海道が平成18年度工業統計調査（速報）を発表。室蘭市の製造品出荷額が、9千245億円で3年連続全道一に。米海軍空母「キティホーク」とミサイル駆逐艦「フィッツジェラルド」が室蘭港に入港。歓迎実行委員会による一般公開が行われ、27・28日の2日間で約2万3千人が見学した。

11月

NOVEMBER

4 1

日本製鋼所室蘭製作所が創業100周年。青少年科学館で、「満2歳！かまけん誕生記念祭」開催。約1千200人の親子などが、科学の実験などに夢中になった。

6

西胆振6市町で構成する西胆振広域圏振興協議会が、住民を対象に行った広域連携に関するアンケートで、「合併検討」と回答した人が約半数であったことを発表。